

# 東 都 大 学 図 書 館

通信幕張キャンパス 第15号

【編集】幕張分館司書 井本紗織

【編集協力】幕張分館図書館運営委員会

看護学科…………阿部由喜湖

理学療法学科…舟橋久幸・平野康之

臨床工学科…………土井根礼音

## 先生のオススメ図書『わからなくなってきました』

理学療法学科 講師 山田圭介

A:「おう！」

B:「お一久しぶり。どう、最近？」

A:「ああ、全然」

B:「ああ、そう。でも前よりはさあ」

A:「それは全然」

B:「ああ、じゃあねえ」

A:「そうそうそう…」

先日、帰宅する際、電車の席の隣に座った4～50代の男性同士の会話である。彼らは乗り換えまでの数駅間、似たようなやり取りを続けていた。私は、決してこの会話を意図的に聞こうとしていたわけではないし、参加するつもりもなかったのだが、彼らの会話からは、2人とも久しぶりに出会ったのだろうかということくらいしか想像できなかった。周囲の人に聞かれてはならない内容を、「山」「川」のような暗号として続けていたのだろうか。言うまでもないが、それは違いうだろう。たまたま遭遇した知人と数分間、すぐに終わられるあいさつ程度の会話を続けていたのだろうか。なので、この会話には大した意味はなく、あえて時間をつぶして聞き耳を立てるものでもない(しつこいようだが、聞きたかったわけではない)。ひょっとすると、後半は彼ら自身も自分たちが何を話しているのかわからなかったのかもしれない。そして、駅に着いた時点でホッと胸をなでおろしていたのではないか…。

こうした、意味のない会話や、よくよく考えてみると「ヘン」なことは世の中に多く存在しているように感じる。昔から、そうしたことが気になる方であった。高校生の頃に母親にそう話すと、読んでみるといいよと渡された本が、今回紹介している本書である。著者は、私よりももっと世の中のいろんな事柄に対して細かな注意を向けていて、「こんなすごい人がいるのか。僕なんてまだまだだ」とよくわからない尊敬の仕方をしたことを覚えている。『細かいことは気にしない方法』などが書かれた本を渡さないあたり、私の考え方が、私だけの突然変異ではないことが伺える。

情報にあふれ、「効率的に、より早く」結果を出すことが望まれる社会である。こうした1つの価値観が強まると、行き詰ったときに辛い思いをすることがある。そんな時に、本書は新たなものの見方を教えてくれると思っている。ただし、「もっといろんな見方をしてごらんよ」という人ほど、自分の価値観で物事を見るように勧めていることもあるので、参考程度にしてほしい。

『わからなくなってきました』宮沢章夫著 新潮社 2000年

Pick Up! ～YouTubeでリアルタイム配信も！ ロマンに満ちた宇宙～



2022年は1月のしぶんぎ座流星群、11/8の皆既月食と天王星食、12/1の火星最接近、12月のふたご座流星群と多くの天文ショーに恵まれました。最近手元や足元ばかりを見ていませんか？信号を待つ間、電車やバスに揺られている道中、寝る前に部屋の窓から、一息ついて少し夜空を眺めてみてはいかがでしょうか。

『星月夜への招待』 KAGAYA 著  
河出書房新社 2015年 748/K 【開架】

太陽は何色？と聞かれたらどう答えますか？もし、赤や橙、黄色と答えると他の惑星の住人には笑われてしまうかもしれません。

所変われば常識も変わる。人類の常識は、宇宙では常識ではありません。今や民間人でも宇宙旅行ができる時代、いつか来るその日のために、ここで宇宙人に会ったときの心構えをしておきませんか？

『ブルーボックス 宇宙人と出会う前に読む本  
全宇宙で共通の教養を身につけよう』 高水裕一 著  
講談社 2021年 440/T 【開架】



図書館からのお知らせ

- 1.蔵書点検のため、2/27(月)～3/10(金)は閉館します。
- 2.今年度卒業する学生への貸出・返却の期日は次の通りです。  
貸出:2/3(金)まで 返却:2/17(金)まで  
\*これ以降の貸出を希望する卒業予定の学生には、貸出の際、今後の入構予定を尋ねることがあります。ご協力をお願いします。